



川村としはる (俊治)

「ごあいさつ」  
 暑さ寒さも彼岸までの言葉がありますが、このところの急な暖かさにより、桜の花も一気に開いてすがすがしい季節になってきました。皆様におかれましてはご健勝にお過ごしでしょうか。  
 29日に行われたソーラン山北よさこいフェスティバルも天候に恵まれ、盛会であったと思います。さて、3月3日から12日までの10日間、平成27年第1回山北町議会定例会が開催されました。主な議題は平成27年度当初予算の審議でした。速報としていつものようにお知らせしてまいります。「ご一読いただきましてご意見などお寄せいただきませうようお願い申し上げます。」

# としはる通信

2015. 3

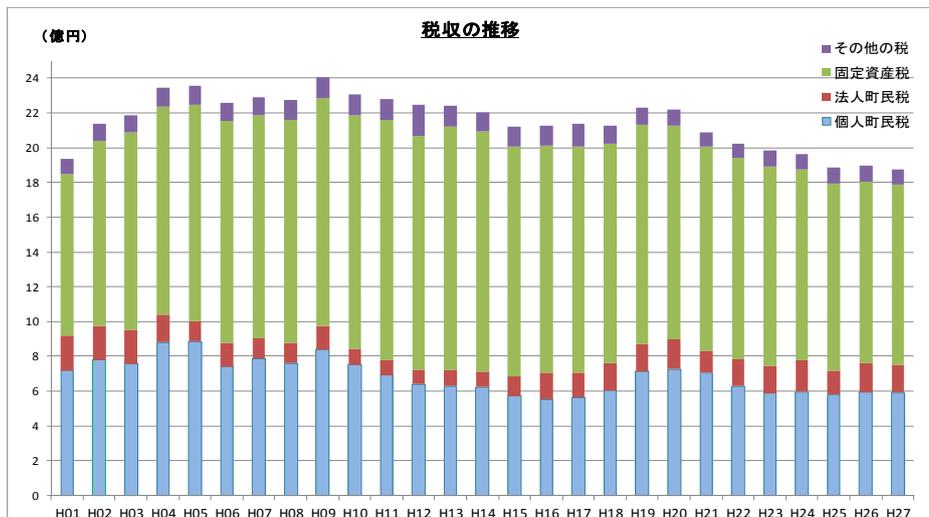
No.48

編集、発行  
 川村俊治  
 〒258-0111  
 山北町向原  
 17-10  
 Tel.75-0928  
 E-Mail t-  
 kawamu@mvd.  
 biglobe.ne.jp



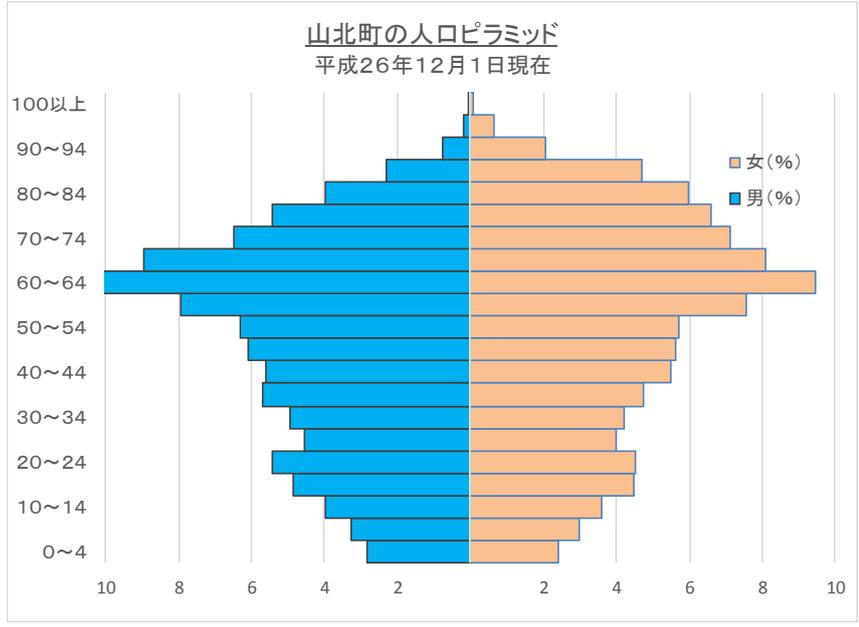
## 税収の推移

町の基幹収入である税と人口構成



町の税収について平成元年度から平成27年度までの推移を見てみました。(出典は総務省発行決算カード、平成26、27年度は当初予算)

税収の主なものは固定資産税と個人住民税ですが、これらの減少が税全体の減少に繋がっていることがわかります。固定資産税の収入を増やすには、地価が上がる必要があります。個人住民税については20歳から59歳を中心に、勤労収入が多い人口を増やす必要があります。人口ピラミッドを見ると一目瞭然です。町は若者や子育て



て世代にいろんな政策を施していますので、功を奏してくれることを期待したいものです。日本創成会議は2040年に全国で896自治体が消滅の恐れがあると発表しました。子どもを産む人の大多数を占める「20から39歳の女性人口」が減ることが原因と論じています。山北町の人口ピラミッドでは、すでにこの年齢の女性が少ないことがわかります。

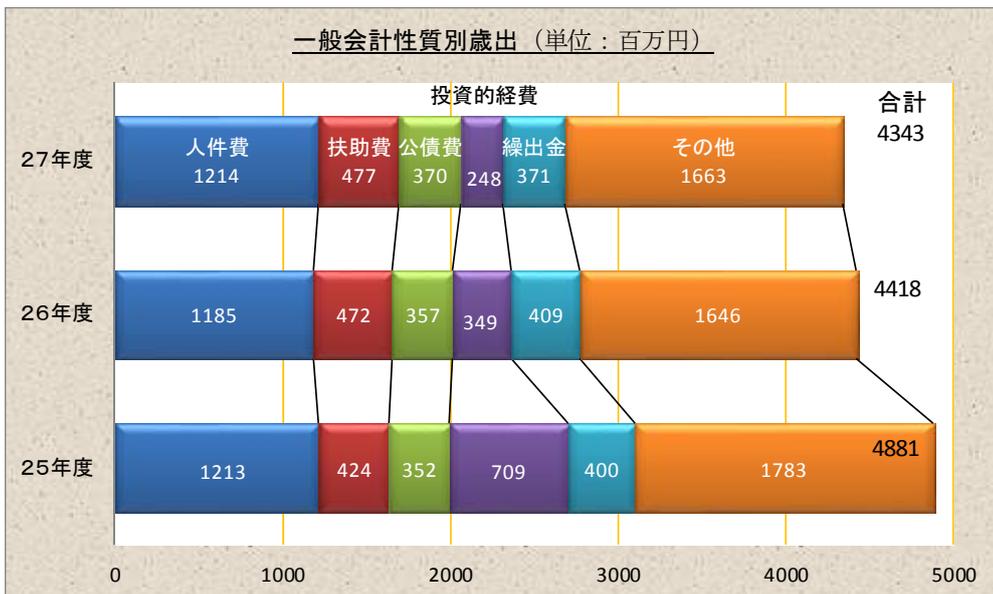
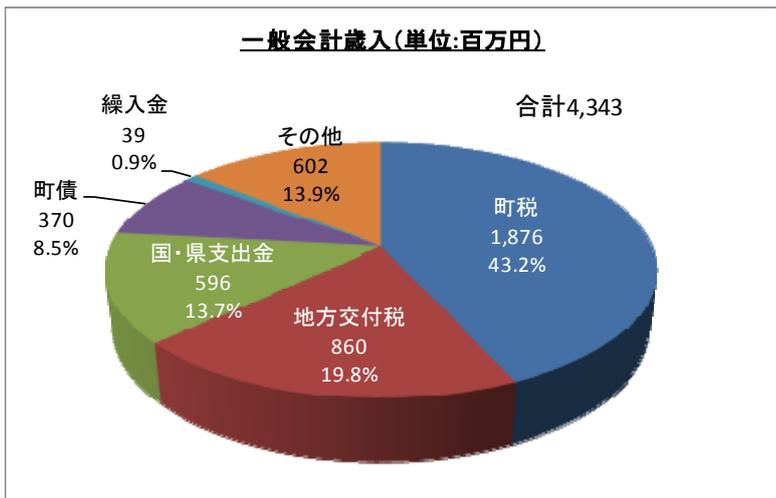
# 平成27年度予算

平成27年度当初予算は総額82億4481万円で、前年度比2.0%の増です。

一般会計は43億4300万円

## 歳入

○町税は、個人町民税、固定資産税の減少で、合計では18億7593万円で前年度比1.0%減となりま



した。  
町税の歳入予算総額に占める割合は43.2%です。  
○町税など、自主財源は53%で、地方交付税、国・県支出金、町債などの依存財源は47%です。  
○財政調整基金からの繰入れ(一

一般家庭でいう貯金の取り崩し)は行っておりません。  
○町税、地方交付税、国・県支出金および町債が地方自治体の四大財源といわれています。  
歳出  
○一般会計を性質別にみるとグラフに示すように、26年度と同程度です。  
○公債費(借金の返済)については、一般の負債(借金)の償還は減っています。臨時財政対策債の償還が始まりました。

## 特別会計

国民健康保険事業、介護保険事業、下水道事業など10会計からなり、36億1488万円です。それぞれ目的に沿った事業展開が図られます。

国民健康保険事業特別会計は医療費の増加等により、24年度に15%の税率改定が行われましたが、27年度には再度15%の改定がされました。

平成30年度には、町単位ではなく県下で統一して運営することが検討されています。

下水道事業特別会計では向原バypass工事の完了に伴い旧246号線沿い村雨地区の下水道整備が行われます。安洞地区は新東名作業道の工事に合わせ、整備を行うよう準備が進められています。

介護保険事業特別会計は3年に一度の保険料見直しがあり、保険料が引き上げられました。保険料の基準月額額は4950円で、神奈川県市町村の平均(4975円)程度となっています。(神奈川県新聞記事より)

## 水道事業会計

予算2億8693万円です。家庭を中心に水資源の大切さが浸透して、給水量が減っており、財政運営は厳しくなっています。

○繰出金は、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、下水道事業特別会計などへの繰出しです。  
○その他は物件費(業務委託料、消耗品や備品の購入費、光熱水費、臨時職員の賃金など)が8億2800万円、補助費等(各種団体への負担金や補助金など)が約7億3000万円、維持補修費(施設の修繕料や道路の維持補修費など)が5247万円です。